

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～島根県立石見養護学校～

1. 活動の概要

令和4年11月29日（火）、邑南町石見養護学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。活動内容は土器作り体験です。まず、学校の周辺にある遺跡の紹介をし、その後、土器とは何か、土器の作り方について説明しました。実際に遺跡から出土した縄文土器や弥生土器の観察も行い、土器の大きさや薄さを感じてもらうことができました。

土器作りは当時の土器と同じ作り方で行いました。実際に作ってみると大きな土器を作るのは難しく、手のひらサイズの土器を作りました。水がもれないように表面を丁寧に粘土の継ぎ目を密着させるなど、子どもたちは集中して取り組んでいました。大まかな形ができると、いよいよ文様を付けていきます。貝殻や撚った糸、掘り込みを入れた木の棒などを使って文様を入れていきます。しっかりと固くなるまで乾燥させたら完成です。

土器作り体験を通して、当時の人々が食材の調理や食事に使用する土器を長い時間かけて丁寧に作っていたことを知ってもらい、生活の様子を想像してもらうことができました。

2. 活動の様子



学校の周りの遺跡について紹介



本物の土器を観察



先生と協力して土器作りに挑戦



完成！

3. 子ども塾を終えて

① 生徒の皆さんから

- ・土器をつくったことが心に残った。
- ・鏡を作ってみたい。

② 担任の先生から

- ・土器作りの時間がしっかりと設けられていて、焦らずじっくり取り組むことができた。
- ・本物に触れる機会を与えられて良かった。
- ・支援を要する子に向けた「合理的配慮」について、いま一度検討してほしい。

③ 埋文センターから

- ・学校周辺に多くの遺跡があることを知ってもらえて良かった。
- ・本物の土器に触ってもらった上で製作ができたので、土器作りの技術の高さを体感してもらうことができた。